



一中だより

浜田市立第一中学校 学校だより 第9号
令和7年1月22日(水)

〒697-0024 浜田市黒川町3745
TEL 0855-22-0946
FAX 0855-22-0947
E-mail dail@hamada.ed.jp



「志を新たに」～自分を鍛える学期に～

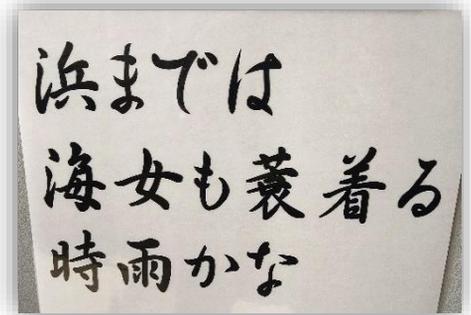
校長 川田 英樹

あけましておめでとうございます。全校生徒372名、大きな事故等なく新年を迎えられたことを喜びたいと思います。今年も「明るくさわやかに、生徒・職員・保護者・地域の人々が響きあえる学校」をめざしていきます。よろしくお願いいたします。

日本は四季折々の全国的な風習になっている行事が行われる国です。昔からお正月には「年神様」が各家庭に来ると信じられていました。「年神様」とは元旦に、新年の幸せを運ぶために、高い山から降りてくる神様のことです。「年神様」をお迎えしてお祝いする様々な風習や行事が生まれました。年末には大掃除をしたり、しめ縄を玄関に飾ったりしました。おせち料理は、もともとは「年神様」へのお供えの料理でした。「お年玉」や「お雑煮」もここからきています。

私たちはなぜ、お正月の風習や行事を大切にしてきたのでしょうか。新しい年の初め、お正月が、生きていく上での大きな節目になっていたからです。昨年よりさらにより自分になれるスタートの時です。志を新たに、昨日より今日、今日より明日と、より素敵な自分を目指して行きたいものです。3学期始業式で生徒に話したことをお伝えします。

新しい年を迎え、どのような志をもって過ごすか、考えてみました。そこで出会った言葉が、「浜までは 海女も蓑(みの)着る 時雨(しぐれ)かな」滝瓢水(たきひょうすい江戸時代の俳人)の句です。どうせ海に入れば濡れてしまうのに、なぜ蓑を着るのか？海に着くまでは、体が雨に濡れないように蓑を着る。海女の美しい生き方を詠(よ)んだ句です。この句は、5年前に96歳で亡くなられた外山滋比古(とやましげひこ)さんの本の中にありました。私たちは「どうせ、できんし」「どうせ、無理だし」という言葉をよく使います。外山さんは「どうせ老い先、短いだからと投げやりがいけない」この句を座右の銘として「最後まで前向きに、少しでも美しく立派に生きる努力を重ねていきたい」と言っておられます。「どうせ」という言葉を禁句にして、私も今年1年、見た目だけでなく心も美しく生きたいと思います。



3学期は締めくくりの学期というより、次年度、4月に向けて自分自身を鍛える学期と考えています。今学期、特に頑張ってもらいたいことは「感謝の気持ちをもって行動する」。具体的には「掃除を一生懸命にする」ことです。一中の校舎は、今年で44年目を迎えます。大切に扱わないと、これからは、どんどん朽(く)ちていきます。これからも美しさを保つために、感謝の気持ちをこめて校舎を磨き、後輩たちに美しい校舎が引き継がれることを願っています。

「週末課題」はじめました

本校では、主に授業で学んだ内容の定着を図るため、教科ごとに宿題を出しております。また、生徒が宿題の有無を間違えたり忘れたりすることがないように、教室には宿題一覧用のホワイトボードを設置しております。それに加えて、今月から家庭学習時間を確保するための手だてとして、すべての学年で「週末課題」に取り組むことにしました。各学年の実態に応じた形で継続して取り組むたいと考えております。

家庭学習が学びを深める大切な手段であることをご理解いただき、ぜひご家庭で進捗や内容について声をかけていただければと思います。
(研究主任 小林)

伝統をつなぎ、高める生徒会 ～バトンタッチ～

2024

会長 新田 空奏 (3年)

私は、生徒会長という立場で体育祭や合唱コンクールといった学校行事や生徒集会などで責任をもって行動することや、企画・運営することの大変さを改めて実感しました。また、生徒代表としてあいさつをする機会が多く、毎回原稿を作って覚えて喋るので、文章を作る力や大勢の人の前で喋る力が特に身についたと思います。

引継ぎの時には、新生徒会役員がとて面白い表情だったので安心してバトンタッチすることができ、これからの活躍が楽しみになりました。最後に皆さん、一年間行事や生徒集会で盛り上がり楽しんだりしてくれてありがとうございました。

2025

会長 竹田 睦 (2年)

こんにちは。新生徒会長の竹田睦です。僕が生徒会長に立候補したのは「もっと良い学校にしたい」と強く思ったからです。先輩達にはたくさん憧れてきました。しかし、ただ憧れるだけではなく、先輩たちを超えていく学校づくりを行っていくと思っています。

そのために僕が目標とする学校は、「共存共栄」ができる学校です。学校を良くするためには、一部の人が頑張るよりも、生徒全員が良い学校を作ろうと思うことが大切だと思い、このような目標を立てました。自分で立てた目標を達成できるように頑張ります。みんなで学校を良くしていきましょう！一年間よろしくお祈いします。

副会長 河上 姫和 (3年)

今年度は、「Butterfly～輝け、私たちの個性～」というスローガンを掲げ、生徒一人一人がたくさん場面輝けるような企画を行いました。行事では、体育祭や合唱コンクールなどで生徒会企画を行いました。これらは全校生徒が楽しめて、一人一人の個性を活かせるようにと役員全員でたくさん話し合い、準備しました。これらの本番では、全校生徒がすごく楽しんでおり、笑顔あふれる様子を見て、生徒会役員としてのやりがいを感じました。皆さん、たくさん協力してください、ありがとうございました。

副会長 佐々木 苑乃 (2年)

私が立候補した理由は、去年の生徒会選挙で前に立ち、堂々と話している先輩方がとてもかっこいいと思ったからです。私も、学校をより良くしていくための力になりたいと強く感じました。

私は、全校生徒の思いを“カタチ”にすることを大切にしたいと考えています。そのために、前年度の生徒会が行っていた全校生徒の意見をとり入れることができる活動をより良いものにします。また、昨年よりも新しい活動を増やし、全校生徒が行事などにより意欲的に活動できるような環境をつくっていきたくと考えています。

生徒会に入って一番大切なのは、「そこで何をするか」「どんな影響を与えるか」だと思うので、これから精一杯頑張ります。

副会長 郷原 健太郎 (3年)

第78期生徒会では、「一人一人が輝ける学校」を目標に、一年間たくさんのことに挑戦しました。その中で私がやってよかったと感じたのは、「色決め集会」です。各学年で発表する方法を変えたり、どんな発表の方法だったら生徒全員が楽しめるか考えたりしました。その結果、色が一つ発表されるだけで体育館中が盛り上がり、とても嬉しかったです。また、最後の色長の挨拶の時に、10分前くらいに決まったばかりのチームにもかかわらず、息の合った掛け声が聞こえてきて、すごい団結力だと感じました。

私たち3年生にとって、第79期生徒会の企画を見る機会は少ないですが、楽しみにしています。新生徒会の皆さん、大変なこともあります頑張ってください。

副会長 福田 悠生 (2年)

こんにちは、新生徒副会長になった福田悠生です。僕はみんなの前に立って引っ張っていく楽しさを知り、副会長に立候補しました。僕は一つの目標に向かって本気で取り組める人が増えてほしいと思っています。そのために、周りの目を気にせず、全力で取り組めるような環境を作っていきたくです。今まで先輩方が作り上げてくださったものを、より良いものに、そして生徒集会や学校行事を全員が楽しいと思えるようなものにしていきたくです。一年間よろしくお祈いします。

私たちが中心となって頑張ります！

【生徒会本部】

会長／竹田 睦
議長／鍵本 友哉
書記／栗山いろは

内藤 晴香

副会長／佐々木 苑乃
副議長／古和 紗空
会計／稲垣 瑠泉

福田 悠生
大地本龍志

【専門委員会 正副委員長】

生活【正】金山 侑未
美化【正】金田 美夢
体育【正】田中 彩綺
図書【正】三明 歩生

【副】高島 颯人
【副】横田 蓮
【副】大崎 寛之
【副】岡田 七海

文化【正】川方 雪舞
保健【正】中田 嘉宗
放送【正】佐々木 亜友莉
給食【正】寺門 維吹

【副】竹村 比呂
【副】久保 奈未
【副】中武 樹
【副】竹林 慶大

